

2019 年度 F D 実施計画書

研究科	流通科学研究科
<p>F D 取り組みへの理念・目標</p> <p>本年度の目標は、①次世代の地域ニーズに応じた修士課程教育プログラムの確立、②修士論文の質の向上、③教員の研究レベルの向上である。これらの達成に向けた教員相互の学び合いの場として FD 研修会を位置づけ、活発な意見交換・情報交換に努めていきたいと考える。</p>	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
<p>第 1 回 (2019. 5. 9)</p>	<p>大学院の将来構想について</p> <p>近年、流通科学研究科の入学者に占める社会人入学者の割合が低迷している。2019 年度の FD 研修会では特にこの点に注目し、今後の大学院の目指す方向性とその実現に向けた対策について検討を重ねていきたい。</p> <p>初回は、テーマ設定の理由を交えて研究科長が問題提起をし、質疑応答を行う。</p>
<p>第 2 回 (2019. 7. 4)</p>	<p>社会人大学院生の受け入れについて</p> <p>社会人の“学び直し”ニーズについて社会人や社会人入学経験者へのヒアリングを行い、その結果を基に流通科学研究科における社会人大学院生の増加に向けた方策について議論を行う。</p>
<p>第 3 回 (2019. 11. 7)</p>	<p>社会人大学院生の PR・募集について</p> <p>社会人大学院生獲得に向けた PR や募集方法等について議論を行う。</p>
<p>第 4 回 (2020. 2. 13)</p>	<p>総括と次年度へ向けて</p> <p>社会人大学院生増加に向けた取り組みについて、これまでの研修の総まとめを行う。また、これまでの研修で浮き彫りになった課題があれば、それについても検討を行う。ここで確認できた内容を踏まえ、共通理解の下、次年度へとつなげていくことの確認を行う。</p>